※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	1	BLUE MARBLE English Communication I BLUE MARBLE English Communication I Workbook DataBase 5000 Hyper Listening Elementary

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

難易度が適当であり、テーマも SDG's を強く意識している興味深い読みやすい教科書である。授業では教科書に加え様々な教材を用いて４技能を駆使した言語活動を行い、総合的に英語運用能力の向上を図る。予習・復習は必須で、単語テスト等小テストも定期的に行う。習ったことを確実に定着させていくために、家庭での学習時間の確保が求められる。またより高度な英語運用能力育成のため、資格試験取得への努力が求められる。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	日常的なやり取りや身近なトピックや社会問題についての英語を聞いて、概要や要点を理解することができる。	身近なトピックや社会問題に関する文章を読んで、概要や要点を理解することができる。	身近なトピックや社会問題について、適切な表現を使って質疑応答をすることができる。	身近なトピックや社会問題について、自分の意見をまとめて簡潔に発表することができる。	身近なトピックや社会問題について、適切な表現を使って自分の意見をまとめて書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の語彙、文法、表現といった知識を活用して、英語で発信されている情報の要点を理解し、また身の回りのことや自分の考えを表現する技能を身につけている。	日常的な話題や社会的な問題について、英語で発信された情報や考えの要点を聞いたり、読んだりして理解している。また、身につけた英語表現を組み合わせて、相手に自分の考えを書いたり話したりして伝えている。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことに基づき、主体的に相手の発信している内容を理解しようとし、自分の考えを伝えようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法

※令和４年度以降入学生用

1	Lesson 1 学校生活 Lesson 2 科学・社会	聞くこと	a: 英語音声に特有の、語・文のアクセント・イントネーションに注意しながら聞くことができる。 b: デジタル時代の友人付き合いや、万博開催とその意義についての英文を聞き、概要を理解できる。 c: デジタル時代の友人付き合いや、万博開催とその意義についての英文を聞き、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リスニング） 週１回小テスト
		読むこと	a: 英文をフレーズごとに区切って読んだり、パラグラフの構成を意識しながら英文を読むことができる。 b: デジタル時代の友人付き合いや、万博開催とその意義についての英文を読み、概要を理解できる。 c: デジタル時代の友人付き合いや、万博開催とその意義についての英文を読み、概要を理解しようとしている。	定期考査 （リーディング） 授業ノート （提出）
		話すこと （発表）） （やり取り）	a: 考え・意見を述べる表現を身につけている。 b: 家庭におけるスマートホンの使用に関するルールについてペアで話し合うことができる。 c: 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話そうとしている。	スピーチ Small talk の発表
		書くこと	a: 理由・原因を述べる表現を身につけている。 b: 未来の技術について自分の考えをまとまりのある文章で表すことができる。 c: 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を書こうとしている。	定期考査 （ライティング） 週１回小テスト （単語）
	中間考査			
	Lesson 3 異文化理解 Lesson 4 社会・公共	聞くこと	a: 英文が読まれるときのリズムや弱く発音される語の変化に注意しながら聞くことができる。 b: 講談師として活躍しているアメリカ人へのインタビューや、ソーシャルデザインについての英文を聞き、概要を理解できる。 c: 講談師として活躍しているアメリカ人へのインタビューや、ソーシャルデザインについての英文を聞き、概要を捉えようとしている。	定期考査 小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 時間的順序、具体例の列挙、例示、情報の追加といったパラグラフの構成を意識しながら英文を読むことができる。 b: 講談師として活躍しているアメリカ人へのインタビューや、ソーシャルデザインについての英文を読み、概要を理解できる。 c: 講談師として活躍しているアメリカ人へのインタビューや、ソーシャルデザインについての英文を読み、概要を理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表） （やり取り）	a: 確信していることを述べる表現を身につけている。 b: 講談師局道南旬ペアで話し合うことができる。 c: 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を書こうとしている。	スピーキングテスト Small talk の発表
		書くこと	a: 理由・原因を述べる表現を身につけている。 b: 未来の技術について自分の考えをまとまりのある文章で表すことができる。 c: 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話そうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2	Lesson 5 教育・平和 Lesson 6 歴史・文化	聞くこと	a: 言い換え・要約に関するつなぎ表現を理解している。単位の歴史に関する英文を聞き、その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 日本の公教育に関するスピーチやさまざまな国で用いられる動物に由来する単位に関する会話文を聞き、自分の考えを整理できる。 c: ルワンダの虐殺を生き延びたマリールイズ氏に関する英文を聞き、概要を捉えようとしている。聞き取った内容の概要を捉えるために、キーワードを書きとろうとしている。	定期考査 小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 新出語等の言語材料(分詞を伴う SVC・SVOC の表現, SVO1O2 で O2 が if-節となる表現、関係代名詞の継続用法・what)、本文の論理展開を理解している。ルワンダの虐殺を生き延びたマリールイズ氏や単位の歴史に関する英文を読み、その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 新出語等の言語材料、本文の論理展開の理解を基に、ルワンダ内戦とマリールイズ、単位の歴史について理解を深めるために、文章の概要や要点を把握している。 c: ルワンダの虐殺を生き延びたマリールイズ氏、単位の歴史に関する英文を読み、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）

※令和４年度以降入学生用

		話すこと （発表）	a: ルワンダについて、事実や自分の考えを整理して伝える技能を身に付けている。単位の歴史に関連するテーマについて、「妥当性を述べる」に関する機能表現を用いて自分の意見を話す技能を身に付けている。 b: 本文に関連したテーマについて、学習した機能表現を用いて自分の意見を表現している。 c: 内容に関連したテーマについて事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、学習した語句や表現を用いて表現しようとしている。	スピーチ Small talk の発表
		書くこと	a: 分詞を伴う SVC・SVOC の表現，SVO1O2 で O2 が if-節となる表現、関係代名詞の継続用法や what を理解し、正しい英文を書く技能を身に付けている。 b: 身近なテーマに関する設定を理解し、ターゲットとなる文法事項を使って質問に答えたり、自分の意見を表現している。 c: 人物の描写といった身近なテーマで自分の考えを整理して、学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 7 動物・科学 Lesson 8 環境・生活	聞くこと	a: バイオロギング研究やオーバーツーリズム(多すぎる観光客)が引き起こす問題について聞き、その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 聞き取った内容の概要を捉えるために、キーワードを書きとっている。聞き取った内容について、事実や自分の考えを整理している。 c: 聞き取った内容の概要を捉えるために、キーワードを書きとろうとしている。聞き取った内容に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 新出語等の言語材料（関係副詞・仮定法）、本文の論理展開を理解している。本文の論理展開の理解を基に、バイオロギング研究やその研究事例について書かれた文章やオーバーツーリズムの事例やその解決策について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 b: バイオロギング研究やオーバーツーリズムについて、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 c: バイオロギング研究やオーバーツーリズムについて、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表） （やり取り）	a: バイオロギング研究やオーバーツーリズムが引き起こす問題について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 b: 動物遺棄や訪日外国人増加の是非について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、ペアで話し合ったりしている。 c: 本文の内容に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、学習した語句や表現を用いて表現しようとしている。	プレゼンテーション
		書くこと	a: 関係副詞（when / where / why / how）、仮定法を理解し、正しい英文を書く技能を身に付けている。事実と意見の区別や原因と結果に関するつなぎ表現を理解し、活用する技能を身に付けている。 b: 本文に関連したテーマについて、事実と意見の区別や原因と結果に関するつなぎ表現を用いて、自分の意見を書いている。 c: 各 Part 本文の内容（バイオロギング研究・オーバーツーリズム）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3	Lesson 9 情報・社会 Lesson 10 日本文化	聞くこと	a: 正しい情報の見極め方や禅の精神と世界への影響について聞き、その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 聞き取った内容の概要を捉えるために、キーワードを書きとっている。聞き取った内容について、事実や自分の考えを整理している。 c: 聞き取った内容の概要を捉えるために、キーワードを書きとろうとしている。聞き取った内容に関連したテーマについて、事実や自	定期考査 （リスニング）

※令和４年度以降入学生用

			分の考えを整理して、学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。	
		読むこと	a: 新出語等の言語材料、本文の論理展開を理解している。本文の論理展開の理解を基に、正しい情報の見極め方や禅の精神と世界への影響について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 b: 正しい情報の見極め方や禅の精神について、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 c: 正しい情報の見極め方や禅の精神について、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表） （やり取り）	a: 正しい情報の見極め方や禅の精神と世界への影響について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 b: ファクトチェックやマインドフルネスについて、事実や自分の考えを整理して伝えたり、ペアで話し合ったりしている。 c: 本文の内容に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、学習した語句や表現を用いて表現しようとしている。	スピーキングテスト Small talk の発表
		書くこと	a:「目的を述べる」「比較する」に関する機能表現を理解し、活用する技能を身に付けている。 b: 本文に関連したテーマについて、「目的を述べる」「比較する」に関する機能表現を用いて、自分の意見を書いている。 c: 各 Part 本文の内容（正しい情報の見極め方・禅の精神と世界への影響）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度